

I・B倶楽部 第一回研究会「南陽～金山への旅」

イザベラ・バードの足跡を辿る第一回研究会は7月25、26日の二日間実施されました。

東北地方は前日まで大雨で、当日も悪天候が懸念されましたが幸い小雨ですみました。

集合場所の赤湯駅では、今回の旅ではあちこちで満開だった「ヤマボウシ」に迎えられバスに乗車、今日の一行 12 名は伊藤さんの運転で赤湯温泉に向かいました。



バードはこの温泉地を「赤湯では安眠を期待していたのですが……、三味線や琴がぺんぺんきんきんと鳴っています。そのうるさに耐え切れず……」と記し、泊まる事無く上山まで行ってしまいます。

今は静かな温泉街で、たまたま出て来られた旅館「丹波館」の方に当時の浴場位置は現在駐車場になっている等を教えて頂くことができました。



旅館「丹波館」前でお話を伺いました。



バードも歩いたであろう道を散策したあと、白竜湖の見える峠に向かいました。

展望台から見る白竜湖は大雨の後だったことからか、何時もより随分大きく、水が溢れている様に見えました。今は白龍湖が見える付近に国道、奥羽本線がとおり、折りしも新幹線「つばさ」が通過してゆきました。



白竜湖のパノラマ



「つばさ」
です





展望台を下って「ハイジアパーク南陽」へ向かいます。
 ここには日本で唯一、イザベラ・バードの展示スペースがあり、バードの著書、世界を旅行した写真、バードが見たであろう往時の我が国の写真など、貴重な資料を見ることが出来ます。
 今回はI・B倶楽部の第一回研究会でもあり、じっくりと見学し研究成果につなげます？



ハイジアパーク南陽でじっくり見学。

次に私たちはこの地方に残された石橋を見ることにしました。

バードの記録では坂巻川で完成直前の素晴らしい橋(常盤橋)を見、技師奥野忠蔵から話を聞くのですが、山形県内には土木遺産となっている石橋が11橋あり、今回の旅のルートに4橋があるのです。午前中に蛇橋、吉田橋、中山橋の3橋を見学、午後堅磐橋(カキワシ)を見学しました。

吉田橋はハイジアパーク南陽にあった完成当時の写真と同じ姿で、明治時代の石工の技術力の高さを見せ付けられます。



昔と変らぬ「吉田橋」の姿
 大切な歴史遺産です

私は朝早い出発で、お腹がすきはじめて頃、石崎神社社務所で上山まちづくり塾の方々が用意してくれた手打ちそばのお昼ご飯です。

バードは丁度祭りの時期に訪れ、「お祭りらしく、どの家にも提灯と旗があり、おおぜいの人々がお寺の境内に群がっています。…外国人が行き来できる距離にあるならば、あちこちへ景色を楽しむ遠足のできる、健康によい保養地となるでしょうに。」と賑わいと保養地としての可能性を書き記し、大いに気に入った場所のようです。

私はといえば、それよりも手打ちそば、わらびの一本漬けの美味しさに全てを忘れて舌鼓をうってしまいました。大沼さんが仕入れた唐辛子の辛さも絶妙でした。(ありがとうございました)

次に控えていたサクランボ狩りも忘れさせる程の美味しさだったのです。



手打ちそば、ワラビの一本漬け、笹の葉は「ゆべし」です。

「上山まちづくり塾」井上さんの案内でサクランボのハウスに到着。この農園は井上さんの義弟さん経営、今年は実の付きが遅いとのことでしたが、ナポレオン、紅秀峰そして言わずと知れた佐藤錦がたわわに実り食べ放題を満喫しました。

手打ちそばを食べ過ぎたにもかかわらず、結構食べられました。別腹ですかね。



たわわに実ったサクランボ。 んーん、早く食べたい！

サクランボ園をバックに皆さんと記念写真を撮った後、山形市内の済生館に向かいました。

ここでは山形歴史たても研究会の小林さんの丁寧な説明を受け、時間いっぱいまで見学する事が出来ました。(チョッとゆくのが遅れてしまいました)



済生館もじっくり見学させていただきました。

この見学で本日の予定は概ね終了。今夜の宿である湯舟沢温泉に向かいます。
途中では、バードが見た鳥海山も見る事が出来ました。



バードが見たのと同じ「鳥海山」、今日は夕焼けです。

湯舟沢温泉でこの日の汗を流したあとはお楽しみの宴会、いや勉強会です。
宿心尽くしの料理に加え、ご主人大泉さんから「幻の銘酒：十四代」の差し入れを受けご機嫌な勉強会が始まりました。
この勉強会では何時も夜は御一緒できなかった、バス観光毘龍の伊藤さんも加わり楽しい宴となり、夜遅くまで語り合いました。



大盛り上の勉強会&宴会。
銘酒「十四代」の差し入れには大感謝！
大沼さんもお機嫌です。



翌日、明け方は雨音で目が覚めるほどの雨が降っていましたが、出発の頃には小降りになり楽しみな2日目の始まりです。

今日最初は猿羽根峠の展望台に向かいます。
随分と車が止まっていると思ったら、中学校相撲大会が行われていました。雨の中の熱戦です。
我々はそれを横目に最上平野の眺望を楽しみ、おみくじ等を引き和気あいあいです。



矢口さんのおみくじは「中吉」でしたっけ。旅の安全は確実。

この中腹にある休憩処「ギャラリー悠里」は元金山中学校長とその奥さん経営、バードの写真を配したコースターにコーヒーカップを載せ、休憩しました。



イザベラ・バードの写真付きコースター。「悠里」さん、ありがとうございました。

金山に向かう途中、鳥越の一里塚に立ち寄り。この一里塚にはめずらしくブナが植えられています。ブナの木は水を吸い上げる音が聞こえるということで、皆さん幹に耳を当てて聞いていました。



ブナが水を吸い上げる音、「心」で聴きましょう。

そして旧羽州街道、上台峠越えです。

あいにくの小雨でしたが野の草花や、雨で洗われた木々の緑を愛でながら小一時間の散策を楽しみました。小雨のため山道には入りませんでしたが、次の機会には山歩きにも挑戦してみたいものです。



傘を差してのハイキングになってしまいましたが、至る所に山菜、花木があり楽しめました。

いよいよ今回の旅の最終目的地、金山に向かいます。
金山はバードが「ロマンチックな町」と賞賛した美しい町です。
町のいたるところに水路が設けられ、大堰の水路には大きな鯉が悠々と泳いでいます。
金山小学校前の公園内にイザベラ・バードの記念碑があり、この前で第一回研究会締めくくりとも言える記念写真を撮りました。



バードの記念碑前で記念写真に納まります。

その後すぐ近くの「一福や」に場所を移して昼食です。
この店は元気・まちネット代表理事矢口さんの友人経営です。名前は同じ矢口さんです。
ここではバードランチの昼食を頂きました。バードが喜んで食べた鶏肉にちなみ、鶏肉のハーブ焼きなど多彩なメニューを美味しく頂きました。



「一福や」さんのバードランチを美味しくいただきました。

食後は小雨の金山町を散策、ロマンチックな町を堪能しました。
時間が押してあまりゆっくりは出来ませんでしたが、落ち着いた雰囲気は味わえました。



腹ごなしを兼ねた金山町散策、大堰水路の鯉があまりに大きくビックリしました。

旅も大詰め、旧羽州街道日当りの松並木に到着です。
昔は立派な松並木だったので今では松も少なくなったり、除雪ステーションに分断されたりで
少し寂しい景色になってしまいました。



石柱の先の道は行き止まり、少し寂しい幕切れです。

I・B倶楽部 第一回研究会の旅もこれにて無事終了。
秋の第二回研究会での再開を楽しみに帰宅の途に付きました。

みなさん大変お世話になりありがとうございました。
秋には人数も増やし、紅葉の十三峠越えを楽しみましょう。
それまで夏の暑さに負けず元気で過ごしましょう！